

平成30年度第2回伊賀市島ヶ原財産区管理委員会会議録

開催日時 平成31年2月21日(木) 午後1時30分から午後2時15分
出席者 管理委員会会長、委員4名
三重県伊賀農林事務所 森林保全課 糸魚川技師
池本島ヶ原支所長、田中振興課長、森岡主幹、杣井囑託職員

1. 開会 振興課長

皆様お揃いになりましたので、ただいまから平成30年度第2回島ヶ原財産区管理委員会を開会します。

会議次第2の会長あいさつ、土山会長よりお願いします。

2. 会長あいさつ

お忙しいところお集まりいただきました。

前回にお集まりいただいたときは、市長面談後の報告会でしたが今回は管理委員会となります。

この後、会議が終わりましたら、区有林の巡視をしますので時間をいただきたいと思います、よろしくお願いします。

(事務局) ありがとうございます。それでは、これより議事に移らせていただきます。議事の進行については、伊賀市島ヶ原財産区管理委員会条例第5条第2項に基づき、土山会長にお願いします。

(会長) これより会議を進めます。

委員の皆さんには、議事の円滑な進行について、ご協力をお願いします。

本日の出席委員は5名であります。会議は成立しました。

3. 会議録署名委員の指名について

(会長) 会議次第の3、会議録署名委員の指名について、会議録に署名いただく方を私から指名させていただきます、委員名簿の順から、裏谷委員と松永委員にお願いします、お二人には後日議事録が出来ましたら署名をお願いします。

4. 議事 (報告事項)

(会長) それでは、会議次第の4、議事に入ります。

報告第1号 大谷地内保育事業について、三重県伊賀農林事務所 森林林業室から説明をお願いします。

(報告事項)

(1) 報告第1号 大谷地内保育事業について

(県森林保全課) 伊賀農林事務所森林保全課の糸魚川です。

平成30年度島ヶ原財産区の大谷地区で保育事業を実施しています。資料が3枚付いています、カラーのA4の位置図が1枚、その下にA3で折ってある平面図が1枚、その下に完成した写真が付いています、第1回管理会で報告させていただいた事業が完成しました。

平成30年6月から平成30年10月にかけて保育事業を、赤色で塗った個所で実施しました、緑で塗ってある箇所は平成29年度に森林整備を施工した場所になります。今年度の施工面積は14.89haとなっています。実施した内容は主に間伐になります、間伐して切った木については、運べる程度に伐って、立っている木や伐った株に引っ掛けて等高線上に並べて流木として流れ出さないように残置している状況です。報告としては以上になります。

(会長) ただいまの説明に対してご質問等ありましたらお願いします。

どうですか、よろしいですか。

(委員) 今日、巡視に行くのはどこですか。

(事務局) 三国塚林道で、今回保育事業を実施した場所の西側です。

(会長) 間伐した木を並べて置くということを行ってくれたのですか。

(県森林保全課) そうです。

(会長) 他にありませんか、質問がありませんのでこれで終わります、ご苦労さまでした。ありがとうございました。

(会長) 次に同意事項、議案第1号 平成30年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算の要求についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

(同意事項)

(2) 議案第1号 平成30年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算の要求について

(事務局) それでは、資料2、議案第1号平成30年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算の要求について管理会の同意を得ようとするものです。

1枚めくっていただいて歳入から説明します。

1款財産収入。1項財産運用収入。1目財産貸付収入では補正額20,000円の増額で補正後27,169,000円、これはN T Tの電柱が増えたことによる増額です。

2目利子及び配当金46,000円の増額で補正後434,000円、これは基金積み立て利子が増えています。3目基金運用収入1,716,000円の増額、これは国債の解約により運用収益が発生しています。

2款繰越金1,004,000円の増額で補正後は1,104,000円です。3款諸収入は変わ

っていません。合計当初予算 27,687,000 円、補正額 2,786,000 円、補正後予算額 30,473,000 円です。

つづいて、歳出について説明します。

1 款総務費。1 項総務管理費。1 目一般管理費。補正部分の説明をします。共済費 4,000 円の減額となっています。賃金 1,108,000 円の減額をしています、これは 1 名の事務補助員の減に伴う減額です。旅費 8,000 円の減額で補正後は 0 円となります。積立金では 7,233,000 円の増額で補正後 15,142,000 円を積み立てます。繰出金 198,000 円を増額して補正後 4,028,000 円となります、これは地区市民センター前の広場の敷砕石工事です。2 款財産費。1 項財産造成費。1 目財産区有林造成費。共済費、作業員保険料 428,000 円の減額。賃金、作業員賃金 3 名分で 2,001,000 円の減額、これは天候不良により作業日数が減ったことによるものです。報償費、境界確認立会謝礼 20,000 円を減額して補正後 0 円としています。役務費では 1,000 円の減額。委託料 988,000 円の減額、これは境界確定測量業務委託です。備品購入費 87,000 円の減額。2 款財産費で 3,525,000 円の減額としています。3 款公債費、4 款予備費については補正額はありません。合計当初予算額 27,687,000 円、補正額 2,786,000 円、補正後予算額 30,473,000 円としています。よろしくご審議お願いします。

(会長) はい、ただ今の説明に対してご質問等ありましたらお願いします。

(委員) 基金解約運用益は、国債を切り換えたということですね。

(事務局) 国債が京都市の公募公債に換わりました。国債の売却益で、以前が国債で今回は京都市債です、その切り替えにより発生したものです。

(会長) 他にありませんか。

(委員) 交流施設負担金には、以前検討した分は入っているのですか。

(事務局) これは補正の方ですので考慮していません。平成 31 年度予算で見込んでいます。

(事務局) 前回の検討会のときに財産区会計で直接工事等の予算を要求するとしていたのですが、一旦全て一般会計に入れて、市の予算で執行していくこととなります、財産区の財産なら直接執行してもよいが公共の施設のため、市の財産に対しては一旦市の会計へ入れることとなります。

(会長) 金額が分からないと困るが。

(事務局) 198,000 円については地域福祉負担金です。

(会長) それはどこに出ているのですか。

(事務局) 歳出 1 ページの 28 節繰出金です。

(会長) たとえば、これから先、電灯を変えるとかの場合でも一般会計へ入れてそこから引き出すということですか。

(事務局) はい。

(会長) 他にありませんか。

(委員) 歳入の 2 款繰越金は予算で 100,000 円予定していたのが決算したら

1,104,000 円になったということですか。

(事務局) そうです。

(委員) 大きな要因はなんですか、差し引きした結果ですか。

(事務局) そうです。

(会長) 他に質問なければ同意したということによろしいですか。

(委員) はい。

(会長) それでは平成30年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算の要求について同意することとします。

(会長) 次に同意事項、議案第2号 平成31年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計当初予算の要求についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

(同意事項)

(3) 議案第2号 平成31年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計当初予算の要求について

(事務局) 資料3をご覧ください。平成31年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計当初予算の要求について管理会の同意を得ようとするものです。

歳入1ページ、1款財産収入。1項財産運用収入。1目財産貸付収入では27,169,000円で前年対比20,000円の増。2目利子及び配当金では382,000円前年比6,000円の減。2款繰越金100,000円前年同額です。3款諸収入40,000円前年比10,000円の減。歳入合計27,691,000円、前年比4,000円の増としています。

1枚めくって、歳出の説明です。1款総務費。1項総務管理費。1目一般管理費では14,161,000円前年対比464,000円の減としています。主な内容ですが、報酬として1,478,000円で管理会委員報酬230,000円、業務嘱託員報酬1,248,000円。共済費として201,000円で社会保険料179,580円、労働災害保険料20,653円。旅費として8,000円。需用費として消耗品83,000円。役務費として2,000円で郵便料を見込んでいます。積立金として5,208,000円の基金積立金を計上しています。次に繰出金ですが7,181,000円、内訳は三国塚林道事業償還金3,050,261円、地域福祉負担金1,266,168円これは清流への維持負担金です、交流施設補助金2,864,000円で、やぶっちゃんの場合の水銀灯取り換えと島ヶ原地区内市道の街路灯LED化経費として計上しています。次に、2款財産費。1項財産造成費。1目財産区有林造成費では総額13,420,000円を計上しています。主なものは共済費として286,000円。賃金として作業員3名分5,663,000円。報償費として境界立会謝礼1,000円。需用費として1,607,000円で、消耗品356,000円、燃料費116,000円、修繕料1,125,000円、医薬材料費10,000円を計上しています。役務費として自動車任意保険料13,000円。委託料として4,500,000円、その内訳は財産区森林整備委託料1,500,000円、財産区境界確定測量業務委託料

3,000,000 円を計上しています。工事請負費として三国塚林道敷砕石設置工事 1,000,000 円を計上しています。原材料費として 200,000 円。備品購入費として 150,000 円森林整備用器具購入代です。3 款公債費 10,000 円を一時借入金利子として計上しています。4 款予備費 100,000 円を前年と同額計上しています。歳出合計 27,691,000 円で前年度から 4,000 円の増額をしています。以上で説明を終わります。

(会長) ただ今の説明に対して質問等あればお願いします。

歳出の 8 節報償費ですが 1,000 円でよいのですか。

(事務局) 先ほどの補正でも 0 円になっていまして、境界立会に来ていただいて本来なら報償を支払わなければならないのですが、伊賀市としてはよほどの理由がない限り報償費は支払わないということになっていますので 1,000 円計上しています。

(会長) 今、市は報償金は支払ってないんですね。

(事務局) まったく支払わないことはないんですが。

(会長) わかりました。

(委員) NTT の電柱代はこれからずっと続くのですか、補正で 20,000 円とありましたが。

(事務局) はい、年度の途中で話があったので補正予算としています。平成 31 年度は当初から計上しています。

(委員) 補助金は一般財源に入れないといけないということですね、当初予算には全く計上してないんですか、これは以前からの分ですね。

(事務局) 3,351,000 円増額をさせていただいております。

(委員) この補助金の件ですが、今お聞きしたら一般会計に一旦入れるのですね。

(事務局) そうです。

(委員) 財産区から直接市へ入ることになり、そこから各施設へ渡すということだから、使い道については福利厚生に使いますという大前提がありますが、こういうことに使います、こんな結果になりますということは市と施設が話合いのうへ補助金を受けるわけですね。

(事務局) 今回の提案の部分については、街灯の修繕として当てて下さいと言って一般会計に渡してます。

(委員) 財産区から市経由の施設になるから第 3 者になりますが、市と施設が交わした、今年状況はこうなります、だからお金が要ります、結果はこうですという決算の書類ぐらひは市経由で管理会にもらわないと、私らは何もわからない、地域の人にどうなっているのか聞かれた時、なんの説明もできない、その辺のやり取りした資料、現状、嘆願書、決算は管理会で報告してもらったほうが、各委員さん納得して、明瞭になると思います。如何ですか。

(会長) 補助金を渡してしまうだけでこちらは何もわからない。

清流へ地域福祉負担金として財産区から支出する 1,266,168 円。財産区から渡っ

ていくけれど、市のお金やと言ってしまうとこちらは何もわからない。

(事務局) それは認識は持っています。

(会長) 社協にはこれだけは財産区からの分ですとわかってきてない困る。

(事務局) 社協に財産区から出した場合であったら、市から社協補助金という形で市から一括して支出しますので、その内、幾らが財産区から補填してくれているという決算的なものが出ますので管理会で報告できます。

(会長) 地域福祉負担金として清流に財産区だけではなく合算で支出することになるんですね。

1,266,168 円プラスされて支出するということは、市はその分だけ出さなくてもよいことになる、財産区が出さなければその分市が出さなければならない、財産区はその分出しているのだから財産区として何かなければ出してないのと同じではないか。

(事務局) 清流の分は一旦市から社協へ支払うけれどその内島ヶ原分として財産区の補助金と含めて島ヶ原支部へ使う費用として入ります。

(会長) 地域福祉負担金は清流にくるわけやないんや。

(事務局) 社協に入ります。この 1,266,168 円は今まで渡していた清流の補助金の不足分としてプラスして入ります。

市が出している補助金では今の清流の在宅の方がやっていきにくい、ついては在宅として残していくためには不足分をお願いしたという形です。今まで市が出していた金額に不足するであろうという額が 1,266,168 円です。

(会長) なぜこの位細かい額ですか。

(事務局) 今年の実績です。

(会長) 渡すのはわかったが、この資料を見たら財産区からというのは分かるが、これ以外に向こうからというのは無いのですか。

(事務局) 社協の決算の中では上がってきます、その辺のことも、財産区の方で了解を得て財産区会計から単独で直接清流に出している、やぶっちゃに出しているというのがわかれば一番いいのですがそれがわからないので、それなら年 1 回広報的なものを住民に知らせるのも一つかなと思います。

(会長) それをしないと今まで何もなかった、しなかったというのがあって、今は財産区でこういうことをしていますということを皆に知らせないと、ここで話しても何をどうしているのかわからないので、それは必要だと思う。

(事務局) 各公社の方で決算書を見せてもらうのはなかなか難しいと思うので、その部分だけ切り取った形でこのように出してもらって、これだけの実績がありますというのを知らせることを考えてます。

(委員) 決算書は難しいのですか、財産区の会議に出すのは。

(事務局) 紙面的に難しいのかなと、広く出すのは、この会議ではよいと思うが。

(会長) LED の関係ですが、2,864,000 円の補助金はどう流れていくのですか。

(事務局) 市から支所へ予算が下りてきて、支所が工事をする。

(会長) そういうことですか。

(委員) 駐車場の水銀灯を変えるのですか。

(事務局) 場内道路、駐車場の水銀灯、外周道路の24基を変えます。

(委員) たとえば、LED化というのは一旦市の方に、この場所でこうしますというのを出すのですか。

(事務局) 市から予算がきますので支所でこことここというのを決めて工事を発注します。

(委員) 予算が来てから決めるのですか。

(会長) 予算としてこれだけほしいと、補助金を。

(委員) 街灯で市のものはないのですか。

(事務局) あります。

(会長) これから先、それを順番に変えていくのですか。

(事務局) いまの流れは蛍光灯の球が切れまして、球だけ変えて下さい、器具も悪いから変えて下さい、となればLEDに変わっております。蛍光灯の器具が売っておりませんので。

(会長) 徐々に変わっていく。

(事務局) 蛍光灯の球を変えるのであれば電気代も安くなるのでLEDに変えてほしいと、財産区が負担してくれるので少しでも早くLEDに変えてしまったら、区として管理している物件もありますので、区の支出が少しでも抑えられるので、順番に進めていけたらという提案です。

街灯何基交換しましたという数は読めます。

(委員) もう一つ、一般会計に繰出しが7,180,429円、その内三国塚林道償還金これは財産区からの事業ではなしに市の事業ですか。

(事務局) 支出しているのは市です。

(委員) それの負担金ですか。

(事務局) 当初からの島ヶ原財産区の中の林道ですので、地元として負担しなければならぬ額が決まっている、財産区の基金があるのでそれで支払えばよいということもあったようですが、借入をして20年で返済しようということで組んであります。

(会長) 財産区の所に付けているからですね。

(事務局) 財産区有林の中の林道ですので受益者負担が必要になってきます。

(委員) あと、何年残っていますか。

(事務局) まだ、10年程度残ってます。

(会長) 他に何かありませんか。

(委員) 歳入の方で教えてほしいのですが。

この間、国債の話が出ておりましたが、歳入の財産運用収入の2目利子及び配当金382,000円、今年より減った予算ですが、これは効いてくるのはまだですか、効いてこないのですか。

(事務局) 国債の方を売却して京都市債に変わりました。これは金利が良いのですが、他にJA等に預けている分の金利が下がっています、下の3款諸収入、預金利子が10,000円下がっているのも金利のダウンです。

(委員) 歳出の2ページ15節工事請負費、今度1,000,000円で三国塚林道の碎石工事をしてくれるのですか。

(事務局) 今日、この後見てもらおうと思うのですが、まだ、地道のところが残っていますので、碎石だけでも敷いておけばと。農村整備課と話しができれば、コンクリート舗装までできたらいいかなというつもりです。とりあえず1,000,000円計上しています。

これが少額で終わってしまうか、あと少し増やすことで終点まで全部コンクリート舗装が出来るかどうかというのはこれから先ですが、1,000,000円あれば碎石だけはできると見えています。

(会長) どうですか、他にありませんか。

なければ平成31年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計当初予算の要求について同意することといたします。ありがとうございました。

(事務局) ありがとうございました。

(会長) 事務局の方から何かありましたらお願いします。

(事務局) 別にありません。

以上をもちまして、平成30年度第2回伊賀市島ヶ原財産区管理会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成31年 3月 日

議事録署名

(会 長) _____

(署名委員) _____

(署名委員) _____